



会長挨拶

細胞検査士会北海道支部 会長 中村厚志

細胞検査士会北海道支部会員の皆さん。市立札幌病院の中村厚志です。

サイトスクリーナー研究会道支部代表幹事（昭和45年）から9人目、細胞検査士会道支部会長（昭和61年）としては5人目となります。諸先輩達が築き、発展させてきた本会を、みなさんのご協力を得ながら、継続発展させて行きたいと考えています。

現在、会員数は288名、全国で7番目に多い支部です。その事務処理の重要性を踏まえ、今年度から新たに事務局長を設置し、スムーズな運営に繋げていきます。また、支部ホームページ事業を再スタートの年と位置付け、迅速性のある情報提供を重点にリニューアルを考えています。本年度事業としては、LOVE49などの啓発事業の他、細胞学会道支部への協力、研修会開催などの学術事業を中心に進めていきますが、今年度は、日本細胞学会の公益法人化に伴う細胞検査士会の動向、支部会の位置や活動方法、また、細胞検査士会役員選挙などの事業や課題が山積しております。

今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。宜しくお願いいたします。

2012年度の役員紹介

2012年度から役員が変わりました。宜しくお願いいたします。

役	氏名	職場	役	氏名	職場
会長	中村 厚志	市立札幌病院	学 術		
副会長	東 恭悟	札医大病院	学術委員長	森谷 純	北大病院
事務局長	加藤 修	対がん協会(札幌)	委 員	浅沼 広子	札医大病院
会 計	安孫子 光春	対がん協会(札幌)		田中 浩樹	小樽市立医療センター
総 務				大坂 峰司	苫小牧市立総合病院
総務委員長	野崎 正行	市立札幌病院		藤岡 学	札幌徳州会病院
HP担当	内田 善一	岩見沢労災病院		長尾 一弥	旭川赤十字病院
道北	石川 文秋	対がん協会(旭川)		平 紀代美	北海道がんセンター
北見	央戸 健二	北見赤十字病院		丸川 活司	北大病院
道東	河野 泰明	釧路赤十字病院		佐渡 正敏	旭川医大病院
十勝	常山 聡	帯広厚生病院		小松 健一郎	NTT 札幌病院
室蘭	植村 弘幸	日鋼記念病院		北澤 竜馬	G-lab 病理解析センター
道南	秋田 隆司	市立函館病院		朝日 久仁子	KKR札幌医療センター
道央	徳永 祐一	札幌臨床検査センター		椎名 真一	砂川市立病院
				簗島 敦志	札幌厚生病院
			監 査	田上 稔	対がん協会(札幌)
				前島 澄子	札幌社会保険総合病院

全国の動き

細胞検査士会北海道支部 会長 中村厚志

①日本臨床細胞学会

日本臨床細胞学会、細胞検査士会のホームページ(HP)を閲覧して頂ければ、現在の動向を読み取ることが出来ます。が、簡単に細胞学会と細胞検査士会の現状を記載いたします。

平成 25 年 3 月には内閣府より、細胞学会に公益社団法人の認可が下りる予定で、その定款策定作業が進んでいる状況。NPO 法人の解散決議には全会員の 3/4 以上の承認が必要となることから、平成 25 年 6 月の学会総会への出席、委任状提出の協力を各支部にお願いしている。公益社団法人設立に向け、細胞検査士会から学会への要望点として以下の点を挙げている。

- ・公益社団法人日本臨床細胞学会における細胞検査士の立場
会員管理、正会員の平等な権利、準会員について
- ・細胞検査士会の今後のあり方
自主性、独自性の保障、資産の保全と保障、会陰等の作成とその使用の承認
細胞検査士会に関する規程等の策定への関与
- ・会員への説明、意見募集に関する要望

今後、公益社団法人日本臨床細胞学会と現状の各支部名称や支部活動についての細かな調整・協議が進められて行く事となります。

②細胞検査士会

- ・平成 25～26 年度役員選挙
選挙人の選出は各支部に会員数から割り当て（約 260 名の選挙人）
北海道支部は支部代表者 1 名の他、選挙人 8 名
各選挙人は 7 名の役員候補氏名記載（投票）する
選挙人は役員選挙投票後、会長・副会長投票も行なう
- ・学術委員会
平成 24 年 9 月 22 日～23 日、10 月 6 日～7 日に大阪と東京で、細胞検査士養成ワークショップを開催。細胞検査士を目指している人は是非、参加を。
- ・平成 25 年 1 月 26 日～27 日 第 5 回甲状腺、唾液腺ワークショップを札幌で開催。
多くの道支部会員の参加をお待ちしております。

訃報

杉戸 弘司 さん(PCL札幌)
6月25日 死去されました。
ご冥福をお祈りいたします。

LOVE49 子宮の日 キャンペーン活動終了



4月8日(日)14:00~札幌三越前と四丁目プラザ前、パルコ前にて「LOVE49」子宮の日のキャンペーン活動をおこなった。寒空のもと札幌市内と小樽の細胞検査士、臨床検査技師、総勢25名が集まり、広報リーフレットとポケットティッシュ1000組を街ゆく人たちに配布した。LOVE49と書かれたのぼり旗を中心に、スタッフはオレンジ色のおそろいのジャンパーをはおり、子宮頸部がん検診とワクチンの必要性をアピールした。

LOVE49の活動は全国で実施されており、今年は過去最高の36支部で街頭活動がおこなわれています。またNHKが東京都支部の街頭活動を取材し、全国放送してくれました。

36都道府県の細胞検査士会が活動したことを前面に出して紹介してくれています。

第53回 春期大会(千葉) 学会見聞録

「日本臨床細胞学会に参加して」 北海道大学病院 病理部 恩田千景

北海道ではまだまだ肌寒い日が続いていた6月上旬、千葉幕張メッセにて、日本臨床細胞学会が行われた。

6月2日午前7時40分、学会で一番初めのワークショップの発表のため、早めに受付を済ませたつもりだったが、会場には既に大勢の人達が集っていた。北海道ではなかなか聞けない関西弁や九州地方の独特なイントネーションや方言があちらこちらから聞こえてくると改めて自分が全国の学会にいるのだと実感してくる。そして数十分後に発表かと思うと、何とも落ち着かない気持ちで一人会場をウロウロしていた。そんな中、職場の上司や道内の技師、教科書の写真などで知っている顔を認めては、徐々に気持ちを落ち着けることができたと記憶している。発表そのものは、緊張のあまり殆ど覚えておらず、気づいていたら終わっていたというのが正直な感想だ。記憶にあるのは、お守りがわりの原稿を手放せなかったことと、座長の先生が優しくかったということだけである。いざ終わってみると、あっという間の出来事であったが、得るものは多く、色々な課題が浮き彫りになった。一番痛感したのは、勉強不足だったかなと思うことが多々あったことだが、詳細は私の胸の内に秘めておこうと思う。

さて、発表が終わってからは、開放感に満ち溢れ、抄録集に印をつけた講演に直行し、諸先輩方の発表に傾聴していた。一番印象に残っているのは、症例に対し、画像所見と細胞所見を照らし合わせながら診断していくという発表スタイルのワークショップで、淀みなく細胞所見を発表している技師の姿を見ながら、自分もいつかはこうなりたいと思ったものである。また、細胞検査士の勉強や普段から細胞診業務に携わっているからこそ分かる、細胞の見方や考え方など非常に興味深い発表が多く、知的好奇心が満たされた2日間だった。

サクラ病理技術賞受賞

第4回サクラ病理技術賞を受賞して

国立病院機構北海道がんセンター 東 学

去る6月2日に千葉県幕張メッセで開催された第53回臨床細胞学会春期大会ランチョンセミナーにおいて第4回サクラ病理技術賞を受賞させて頂きました。この賞はご存知のとおり病理細胞診検査の関連機器を扱うサクラファインテックジャパン(株)が創設した褒賞制度で「病理標本作製技術に関する研究論文や日常業務での技術・知識および地域医療への顕著な貢献というような活動」を対象とし個人および医療団体に贈られ、第1回目には北臨技形態部門も団体として受賞されています。

今回評価された私の業績は、組織染色の外部精度管理調査において国内で初めてバーチャルスライドを活用した報告様式を発案し、これまで不可能であった多くの施設間での染色状況比較をインターネット上で展開することを可能としたこと。もう一つは、当院の山城先生が考案された細胞診のためのZ軸ビデオを収載したデータベース(Zavic DB)を細胞診精度管理調査と症例検討会で活用し、細胞画像を細胞検査士間で共有することで細胞診断に対する多くの意見交換を可能とさせたことが評価されました。

Zavicを精度管理へ導入した当初は、これまで静止面に慣れ親しんできた方法を変えることもあり、多くの検査士の皆様からご意見を戴きました。本受賞に際し、アンケート調査等の御協力を戴いた北海道内の病理技術者の皆様、道央地区会をはじめ道内の細胞検査士会の皆様へ感謝を申し上げます。



受賞した東さん（右から3人目）

がん診療連携拠点病院強化事業 LBC 標本鏡検研修会 終了



LBC 標本鏡検研修会が 6 月 23 日（土）札幌医大で開催された。山城先生プレゼンによる講義と実習で、婦人科領域は厚木市立病院の山本技師と東海細胞研究所の坂本技師におこし頂き、非婦人科領域は北海道がんセンターの平技師と中島技師にご講演頂いた。道外からの参加者も多く、受講者 70 名全員熱心に受講していた。受講者の皆様、山城先生、講師の皆様、北海道がんセンター皆様お疲れ様でした。

講師：後列）山本技師、山城先生、坂本技師 前列）平技師、中島技師

参加者より

がん診療連携拠点病院強化事業による LBC 標本鏡検研修会に参加して

砂川市立病院 椎名 真一

平成 24 年 6 月 23 日 札幌医科大学にて北海道がんセンター主催による LBC 標本鏡検研修会が開催されました。

当院では、LBC 法をまだ導入していないので、今後の導入に向けて LBC 法の正しい知識を得る事と、各社の LBC 法で作製された多くの症例を一度に鏡検する機会がなかったので、今回の研修会に参加させていただきました。

午前中の講義で、山本秀巨先生は ThinPrep 法、坂本寛文先生は SurePath 法による婦人科検体での細胞の見方、各方法による長所・短所等を実際の症例を交えて詳しく解説していただきました。また非婦人科検体において、平紀代美先生は従来法と比較しての LBC 法の有用性、中島真奈美先生は標本の作製方法を動画を交えて講演いただき、とても深い内容でした。

午後からは、婦人科・非婦人科領域 84 症例の鏡検でした。従来法と LBC 法の標本は細胞像が違うと思い込んで鏡検を始めましたが、実際に鏡検していくと、想像とは異なり細胞像にあまり違いがなくホッとした自分がありました。（導入後のトレーニングは必要だと思いますが・・・）あつと言う間の一日でしたが、確実にスキルアップに繋がったと思います。LBC 法はコストの問題もありますが、条件付きではありますが今年度から保険適用となり、鏡検の効率化や追加検査を行える等のメリットが多くあり、今回の研修会で学んだことを生かし LBC 法の導入に向けて検討していきたいと思えます。最後に、今回の研修会を企画された皆様、症例を準備していただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

LBC 標本鏡検研修会に参加して

北海道大学医学研究科 本多 美香

6月23日に行われたLBC標本鏡検研修会に参加してきました。午前中は4つの講義、午後は鏡検と聞くだけでハードな印象でしたが、春から甲状腺等のLBC標本をみる様になり、まだまだ手さぐり状態の鏡検なので少しでもヒントが得られれば…という想いで申し込みました。講義では、ThinPrep法、SurePath法各々の婦人科検体についてと、CytoRich Redを使用した非婦人科検体についてという内容で細胞像の話だけではなく、標本作成原理から運用状況、利点・欠点等を包み隠さず教えていただきました。実は私の中で各方法の細かい区別はついておらず、それぞれの話を一度に聞くことで、やっと違いがわかった気がしました。鏡検では、今までの知識や細胞像の記憶を覆される標本もあり、標本作成原理や染色(特にHxの時間)、採取器具を念頭に入れて鏡検する重要性を実感しました。どの講師の方のお話も、より良い細胞診断のために奮闘しておられる様子がわかり、モチベーションの高さをみせられました。そして、良い意味で今までの経験に固執せず、これから進化していく細胞診断技術に対応する柔軟さが必要だと感じました。予想以上に勉強になり参加して良かったと思います。ありがとうございました！

<標本鏡検実習風景>



各地区会の動向

道北地区

対がん協会(旭川)

石川 文秋

今年度も今まで通り検査技師会の細胞研究会との共催の形をとりつつ活動を続けたいと考えています。先日 2012年6月29日(金)に旭川赤十字病院で講師 旭川赤十字病院耳鼻咽喉科 高林 宏輔先生 と日本ベクトンさんの協力のもと今年度最初の勉強会を開催しました。また 今年度は、2月頃に細胞検査士による症例検討会?のようなものを旭川赤十字病院の長尾さん(今年度より細胞研究会担当)と予定しています。

検査士の方が中堅クラスになりそれぞれの仕事の負担も増えなかなか思うように集まり活動が出来にくい状況ですがこつこつと長く活動していきたいと考えていますので、よろしく応援お願いいたします。

北見地区

北見赤十字病院

宍戸 健二

北見地区会は網走地区・遠軽紋別地区・北見地区の3地区からなっており、「オホーツク地区会」と言った方が良いのかも知れません。この広いオホーツク圏に現在の細胞検査士会員数は6名(漏れている方がいらしたらごめんなさい)しかおりません。少ない人数で守備範囲がとても広いです。とはいえ、人口密度は低いのですが、、、。活動内容ですが地域性もあり、なかなか地区会を開催することができずに今まで来ておりましたが、今年度は6月に道東産婦人科医会学術講演会に共催し、NTT 東日本札幌病院 産婦人科 部長 西川 鑑先生に「HPV と子宮頸部病変-CIN の取り扱いについて-」をご講演いただきました。また、11月にも道東産婦人科医会学術講演会に共催し、東北大学 産科学婦人科学分野 教授 八重樫 伸生 先生のご講演を予定しています。今後は少しずつ症例検討会など行っていきたいと思いますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

道東地区

釧路赤十字病院

河野 泰明

道東地区会は現在、釧路市内の6施設に15名の細胞検査士会員が在籍しています。平成24年度の活動計画は例年通り、各施設輪番制で、症例検討会など3回の細胞診勉強会の開催を予定しています。去る6月21日、第1回目の勉強会を釧路赤十字病院が担当し、三上技師による、病理検体取り違い防止への取り組み「組織カセット、プレパラートの2次元バーコードの有用性」を釧路がん検診センターで行いました。病理検査従事者が共有する一番の重要事項であり、活発な意見交換が持たれました。最近細胞検査士の減少が問題となっています。その分、超音波検査士に人気があるようです。近い将来、道東地区会でも細胞検査士不足にならない様に、細胞検査士を養成していかなければと思っております。

十勝地区

帯広厚生病院

常山 聡

十勝地区は活動らしい活動も行っていないませんが、細胞検査士間で集まったことといえば、数年前まで十勝地区で細胞診の専門医として活躍されていた山口潤先生の三回忌を行ったことでしょうか。山口先生のお墓は生れ故郷の穂別町にあり、そこでご家族のみなさまといっしょにお参りさせていただきました。先生のお墓は、ご自信が卒業された穂別高校のそばの小高い丘の上にあり、穂別全体を見渡せ、花と緑に囲まれたとても気持ちの安らぐ場所でした。そこにいだけで山口先生のやさしさに包まれているような錯覚を感じました。これからも我々北海道の細胞検査士のことを見守ってくださると思います。また、今年度は、細胞検査士の認定資格試験の受験予定者が2名います。昨年からは勉強している技師で、試験に向けて猛特訓中です。来年度は更に2名が受験予定として、病理のルーチン業務をマスターし次第、勉強を本格化する予定です。

室蘭地区

日鋼記念病院

植村弘幸

室蘭地区会の病理細胞診勉強会は市立室蘭総合病院、製鉄記念室蘭病院、伊達赤十字病院、日鋼記念病院の4病院が持ち回りで毎年4・5回の勉強会を開催しています。主に希少症例を含む症例検討会や免疫染色の検討など話題となっているものを取り入れて、和気あいあいと楽しく意見交換をしています。今年度はLBCの現状について講師を招いて勉強会を行いました。近年、中堅からベテランを対象とした内容が多かったため、今年度は細胞検査士育成のために基礎的な内容を含めた勉強会を3回程度開催する予定です。

道南地区

市立函館病院

秋田 隆司

「けるんの会」と称して研修活動をしております。会員は老若男女、上は83才から下は24才まで様々で、専門医7名、獣医師1名、細胞検査士26名、細胞検査士資格取得を目指して勉強中の技師3名です。函館市を中心としていますが、遠くは二海郡八雲町から85kmの道のりを車で1時間半かけて参加しています。今年は1月に学術講演会1回、2月から毎月1回6時半より2時間ほど症例検討会を行い、7月で335回となりました。最近の「けるんの会」で印象深かったのは、国立病院機構函館病院の松林さんの症例提示でした。4月に函館から国立病院機構北海道医療センターに転勤になった広瀬さんの協力の下、札幌市からiChatを用いてのものでした。まずパソコンの画面に広瀬さんが登場しました。ややコマ落ちの動画でしたので、まるで宇宙飛行士と交信しているようで、少し興奮しました。文明の利器をうまく使うとこんなことができるのですね。

道央地区

札幌臨床検査センター 徳永 祐一

道央地区会の主たる活動は、2~3ヶ月に一度開催する例会です。症例検討報告を中心とし、細胞診専門医による講演を実施しています。5月には、北海道対がん協会で開催し、細胞診センター長の藤田博正先生に講演をしていただきました。毎年恒例となりました札幌以外での開催は、今年度は、小樽市で8月に実施します。9月以降も定期的に例会を開催する予定です。症例報告に関しては、輪番制を採用していて多くの施設に参加をしていただけるようにしています。また、細胞診指専門医に参加をしていただけることにより、研修会としてクレジット申請を行うことができ、身近なところからでも単位を取得することができるようになっています。他に例会以外の活動としては、細胞検査士二次試験対策として細胞検査士会北海道支部が主催する模擬試験への協力があります。模擬試験への準備や当日の手伝いなどを行っています。道央地区会は会員数の多い地区ですが、17名の道央地区役員で協力をしながら運営していきたいと思っております。

今後の予定

- 第63回細胞検査士教育セミナー 8月25日~26日(土日) 東京・一ツ橋ホール
- 第64回細胞検査士教育セミナー 9月1日~2日(土日) 大阪・松下IMPホール
- 第64回細胞検査士ワークショップ 9月15日~16日(土日) 東北大学医学部
- 細胞診受験者&細胞診初心者のための講習会 10月6日(土) 札幌医科大学(札幌技共催)
- 「検査Deフェスタバル」 10月7日(日) 札幌地下歩道空間
- 細胞検査士受験のための講習会開催 札幌医科大学
- 一次模試:10月7日(本試験10月21日)、二次模試:11月11日(本試験12月1・2日)
- 第51回日本臨床細胞学会秋期大会学術集会 11月9日~10日(金土) 新潟・朱鷺メッセ
- 第33回日本臨床細胞学会北海道支部総会並びに学術集会
11月18日(日) 札幌医科大学 教育研究棟一階 臨床大講堂
- 第5回甲状腺&唾液腺ワークショップ 2013年1月26日~27日(土日) 札幌医科大学
- 第25回細胞診従事者講習会 2013年3月3日(日) 札幌医科大学記念ホール
- *細胞検査士受験者向け講習会(大阪・東京) 近々HP上に掲載予定です。

<編集後記>

LOVE49の知名度はまだですが、最近テレビで子宮頸部がん検診とワクチン接種の啓蒙運動が活発に行われるようになってきました。若者の意識の中にどんどん広がる事を切望するものです。(野崎)